



スマイシアHD株式会社 代表取締役会長
アサヒグローバルホーム(株) 取締役会長
ゴールドトラスト株式会社 取締役会長
ゴールドエイジ株式会社 取締役会長
文／久保川 議道
text:Yoshimichi Kubokawa

店長・館長・上司『〇〇のころ』

全ての「会長のひとりごと」がWEBで読める！
『くぼかわよしみち.com』

くぼかわよしみち.com

検索



毎月
20日
更新!!

アサヒグローバルホーム(株)が21人、ゴールドエイジ(株)が64人、ゴールドトラスト(株)が9人、合計94人がそれぞれ『上司のころ』を書いてくれています。そしてそれを1,900人のそれぞれの部下の社員さんが読んでくれているのですが、なんかいい感じです。

まず第一に94人の上司が毎日忙しい時間の中で月二回作文のような、手紙のような、日記のような文章を書いて部下に配布することは、まあ個人的にも責任があつたり、精神的な圧迫があつたりで嫌なものです。平均的に10人〜20人くらいの部下も、上司の手紙を希望もしないのに毎月もらっちゃったりして、まあ迷惑というか、読むのも面倒臭いと感じるものです。私はそう思います。しかしなんかいい感じなんです。

理由の第①はそれはまず読んでみると面白いのです。仕事の指示ではありませんし、時には上司のうつぶやや弱音や文句などがあつたり、時には学校の先生のように部下に何かを教えるようにしていたり。嘘か本当かは分かりませんが、部下に対する感謝の言葉も多く書かれています。一言で言うと、部下は上司を3日で知る(上司は部下を知るのに3年かかる諺)みたい

です。まあ要するに上司が何を考えていて、何がしたいのか。そして私達部下に対して感謝しながらも、何を要求しているのかが手に取るように分かるのが面白いのだと思います。

そして第②は面白いだけではなく、あー、店長は苦しんでいるんだなとか、館長って思っているほど強い人ではなくて、こんな優しいところや弱いところがあつたんだなと分かることです。仕事の指示や命令ではわからない上司のころが分かるような気がするのと、部下も救われるというか、自分でも自信をもつて仕事をすれば上司に追いつけるし、追い越せるかもしれないと思います。すると自然に元気になるものです。

そして第③はお互いがなんとなく理解できることです。私は『〇〇のころ』はもの凄く効果のある『コミュニケーションツール』だと考えています。私自身が『社長のころ』を一人一人の社員さんへ書いていたのが40年前の1985年頃でした。その後社員さんが増えたので(20人規模)二人は止めて毎月1枚にして書き続けました。

今は社長さんに任せて、このわくわく夢ニュースの『会長のひとりごと』

を毎月各社分の4枚を書いています。これもまあお客様や社員さん達とのコミュニケーションツールなのですが、はいすみません。このひとりごとは私にとって『命』なのです。もう書かなくていいと言われると私は死んでしまいます。それ程大切な『会長のころ』なのです。これがあるからお客様と繋がる。これがあるから社員さんとながっていると感じる唯一のツールになってしまいました。

私は94人分の上司のころを全て読んではいませんが読むこともありえます。すると何と云うかオモシロイのです。この人がこんなことを思っていたんだとか、へーこんな考え方もあるのかとか飽きずに読んでしまいます。社員さん一人一人もそうだと思います。そして上司が泣き言いつてる少し助けてやろうとか、もつと私達がしっかりして上司を支えないと、なんて考えるのではないのでしょうか。

上司のころもやってみて問題があれば止めるつもりでしたが、今のところ上司も部下も指示命令以外のところ、ホノボノとつながっているみたいなので、これからも続けたいと思います。上司もなんとか頑張つて書いてください。お願いいたします。

わくわく 夢 ニュース【高齢者住宅】

ゴールドエイジさくらしんまち
中庭のある閑静な高齢者住宅で穏やかな暮らしを
ゆったりとした暮らしの中でケアを提供しています

2025
7月
No.222



ゴールドエイジさくらしんまち
〒510-0841 三重県四日市市桜新町一丁目218番地